

第3回 小美玉市新まちづくり構想実施計画策定委員会会議結果

1.日 時：令和7年11月25日（火）10：00～12：00
2.場 所：茨城空港ターミナルビル2階 会議室
3.出席者：
委 員：熊澤委員長、深谷副委員長、長島委員、石井委員、桐原委員、
重藤委員、黒羽委員、岩本委員、本田委員、山西委員
小美玉市：倉田産業経済部長、朝比奈都市建設部長、
榎戸商工観光課長、真中特定プロジェクト推進課長
事務局：商工観光課 清水係長、才川主幹、廣山主幹
特定プロジェクト推進課 富田係長、重藤主幹
委託事業者：DTFA 河野氏、奥田氏、佐藤氏、杉島氏、
DT PRS 嶋峨山氏、増田氏、井上氏

【主な内容】

1. 開会
2. あいさつ
3. 協議事項
 - (1) 施設整備計画の具現化に係る検討 ・・・ 資料1
参考事例調査結果 ・・・ 資料2

【質疑・意見要約】

百里飛行場前新交流拠点について

（委 員）浜松にあるエアパークを視察させていただいたところ、たくさん訪問の方がおり、特にVRコーナーとフライトシミュレーターが、施設の目玉になるのかなと再認識しました。VRは、実際に隊員の方が飛行機に乗って撮影したもので、リアル感、臨場感があり、本当にパイロットになったような、とても体験として魅力があるのかなと。フライトシミュレーターもやってみましたが、小学生とか中学生にも人気があるのかなと思います。また、百里基地の歴史や自衛隊の展示広報などを、映像機能を使って最初にイントロダクションとして説明して、その後体験コーナーに行って体験していただくのもいいのかなと思います。もう1つ、浜松のパークではタラップによる自衛隊機の登場体験ができ、ここではパイロットの服をお借りして、たくさんの親子連れの方が、親子で搭乗して、写真を撮ることでき、とても人気があったと思います。そこで、1つ提案ですが、市内企業さんの実物大の航空機模型1機の展示と合わせて、桐原委員にご相談となりますが、自衛隊の退役機、実際に百里基地で飛んでいるT4、あるいはブルーインパルスなどで提供が可能ならば展示できないかと。タイミングがあると思うのですが、申請しておけば、場合によっては協力もいただける可能性があるとも伺っておりますので、ぜひご検討いただければと思います。

それから、A案B案C案ということで、施設を作った後の維持管理費を考えると、2階建てはエレベーター等の設備が必要となり、また、建設費もかかるので、1階建てが良いと考えます。また、施設全体の有効利用という観点ですと、私的にはB案がいいのかなと思ったところです。感想も含めて、以上でございます。

(委員) この施設で航空機や模型展示を計画していますが、搬入搬出の方法というのを考えているのでしょうか。

(事務局) 模型を製作している企業さんに伺ったところ、搬入にはパーツごとに分解して搬入し組立てができると伺っております。また自衛隊から、退役機をご提供いただく場合には、外部から持ってきますので、搬入できるような間取りにしたいなど検討してございます。また、イベント等の際に、外に出せるか出せないかという議論もありますので、搬入搬出方法と合わせて検討していきたいと思っています。

(委員) 退役機は荷重がかなりありますよね。この施設に退役機を展示するのであれば、それに耐えうるような、床をどう作るのかっていうのも考えなきゃいけないと思いますし、さらには搬出通路の路面の作り方も考える必要があると思います。模型であれば分解して入れることも可能かと思いますけども、退役機は分解して入れるってことはできないと思いますので、搬入のことは結構大きな問題じゃないかと思ったところです。

(事務局) 浜松のエアパークとかで聞いた話ですけども、退役機一部翼の部分とか、組み立てが可能だってことは伺っています。また、航空機そのものを丸々置くのではなく、例えば中身の機械や内装の部分は抜いて展示することと伺っておりますので、軽量化を図って展示ができると考えております。

(委員) 退役機の話が出ましたが、浜松エアパークは国が運営しているので規模が全く違います。分解して持ってくるという話もありますが、技術的な面で、自衛隊だけではなく、専門の会社に依頼しなくちゃいけないような状況も出てくると思います。またそれでお金がかかってきますので、基本的に市のレベルで実機の展示をやるのであれば、機体の一部をカットっていう手法もあるかと思います。航空機のコックピットの部分だけをカットしてもらってそこだけを展示し、中に乗り込むのも自由、機器類もすべて付いていますよと。自衛隊側が、退役機の供与が良いですっていう話になれば、そういう方法でも良いのかと。費用をすべて、自衛隊持ちって話は多分できないと思うので、細部を詰める必要はあると思うのですが。重量も数トンにはなると思うけども、何十トンという話では全くないので。

もう1点は、航空広場にある屋外展示機のファントムの移動について、こちらは分解して移動というのは、技術的にはっきり言って無理だと思います。これも専門の会社に依頼して翼を離すとかやり方をしなければなりません。ですから、一番良いのは道交法とかありますけども、その辺は色々なセクションと協議して、今の道路を牽引して移動できるような方法を模索したほうが早いと思います。重量は6tか7tくらいは少なくともあると思いますので、道路の状況とか検討は必要ですが、牽引してもいいよっていうことであれば、そういう搬入経路まで考えての整備というのを考えたほうがいいのかなっていうふうに思いました。

(委 員) 退役機の提供ということでご発言があったのですが、T4につきましては、現在まだ現役の機体として、この機体が退役になる運用の終期については、今は見えてないという状況ですので、機体を丸々提供するというのは、近いうちはあまり現実的ではないのかなというふうに思われます。航空機は故障したところの部品を交換しながら、長期運用していきますので、現時点においては、運用の終期が見えてない現役の機体の提供というのはちょっと難しいのかなというふうに思われまして、私の思いつきの案ですけども、例えば計器類ですとか、故障して外したようなものを、部品レベルでの提供ということは可能かもしれません。あと、現役の機体をもし持ち上げるという場合には、100tクレーンを利用していきますので、それと同程度のクレーンがないと、持ち上げて下ろすということはちょっと難しいのではないかというふうに思われます。

(委 員) 航空機の退役機も含めまして設置については、搬出入がすごく重要になると思いますし、今展示されている例えばポーランド航空博物館や国内の事例においても、敷地にどういう形でゾーニングしていくのかっていうのも、かなりのウエイトで搬出入のことを考えて設計していると思いますので、ぜひ搬出入についてはよく考えてもらえばと思いました。

(委 員) 現役の機体を提供いただくことは現実的でないっていうことでよく分かりましたが、タイミングもあると思いますが、あらかじめ申し込むっていうことは手続き的に可能なですかね。

(委 員) あらかじめ、そういう申請をしていただくという手続きはあるかどうかは持ち帰り確認しませんとわかりませんけれども、運用を終了した機体、航空機としての用をなさない機体については、いわゆる、教材という形で別管理をして、希望される自治体等に無償で貸し付けるという形で、これまでF4なんかもやっておりりますので、同様の手続きで、提供させていただくことは可能だと思います。

(委 員) A案にしてもB案にしても、退役機が配置されているところは、かなり地盤面が下がっていたかと思うのですが、ここは地盤を上げて航空機を設置するような方向で考えているのでしょうか。C案の場合には建物の上に乗っけているので、そのような荷重のかかるような建物は、なかなか作るのは大変なんじゃないかなと現実的にと思ったところですけども。

(事務局) 退役機を展示するところは、ご指摘のように下がっていますので、土木的には盛土する形になります。当然荷重を計算しまして、地盤を強固する形の措置をした上で、造成することになると思います。C案につきましては、退役機が目立つような2階建ての案となりますますが、ご指摘のように実施面におきましては、経費等もかかると思いますので、比較案の1つということで書かせていただいた次第ございます。

(委 員) B案ですが、建物が道路の方から見ると、そ・ら・らと同じように裏側に見えてしまうのでしょうか。

(事務局) 建物は開いている形になりますので、逆に道路側から、よく見えるような工夫がされている認識でございます。また、建物が「くの字」になっておりますが、空港に向かってくる場合にも、退役機が見えるように検討しながら、この角度にしております。

(委 員) そうしますと、この建物の正面というのは、28ページの図面から見ると左側が正面という形で、右側が建物裏ということでよろしいのですか。

(事務局) 28ページの図面で、左側にメイン来館用出入口って書いておりますのは、車で来訪した方のメインの出入口になります。右側の入口は、道路から直接来られる方にとってはそちらがメインの出入口になります。両方が裏にならないような計画にしたいと考えております。

(委 員) 右側の方は、全面塞いでいるわけではなくて、中がある程度見えるような形で、明るいイメージでよろしいのですかね。

(事務局) はい。裏にならないように配慮して、計画はさせていただきたいと思っております。

(委 員) A案の話で、建物は池側に置いてあるのですけど、築山のところに建物で池側が駐車場じゃいけなかったのですかね。そうすると荷重をあんまり気にしなくなるかなと思ったのですが。図面の駐車場のところに建物を持ってくれば、駐車場が土盛りしたところに行くと思うのですけど。そうすると今の地盤の比較的強固なところに建物が入って、駐車場はそんなに重たくないと思うので、そっち側が盛土の場所の方が地盤だけのことを考えるといいのかなと。ざっと疑問に思ったのですが、何か景色とか何かあるからそのように考えられたのでしょうか。

(事務局) お話をありました通り、一番に考えたのは建物から正面に芝生と池という景色を考えております。荷重に関しては確かにおっしゃる通りの部分もあるのですが、車の通行や車をたくさん停めるとなると、しっかり荷重がかかってくるかと思っております。駐車場を空港側に寄せているのは、車の出入口を現状県道からで考えておりますけど、将来、駐車場に別なルートから来られることも鑑みて、この計画にしております。

(委 員) 基礎って、土盛りしてからどのぐらい空けるのでしたか。うちも造成よくするのですが、かなり土落ちるのですよ。下までちゃんと地盤に杭を打つのでしょうかから、押さえるのは押さえるのでしょうけど、実際に土を押して建物建てるまでの間って、どのぐらいの期間を想定されているのでしょうか。

(事務局) 地質調査はこれからとなりますが、盛土する場合には、動態観測と申しまして、地盤が安定するかどうかを観測していくって、安定したところを確認した形でやります。また、実際に盛土を施工するときも、一層の仕上げ厚が30センチぐらいで、段階的に仕上げていきますので、極端に沈下することはならないと考えています。

(委 員) このB案が良いと思っているのですが、眺望の件について、北山池は今回やらないということですが、ヨシやシノが出ていて、こういう景観は一緒に綺麗にしていかないとせっかくの眺望が悪いと思うのですよね。よく他の公園でも、当時は綺麗だったのが、10年20年30年ってなると、池の景観が悪くなって、夏場では臭いもするっていう場合もあるので、ここも一緒にやっていかないと。今後この北山池の方からもお客様も来たり、そ・ら・らの方からも歩いてくれたり、そういうPRもできる場所があるので、せっかくの機会ですので、北山池の部分も浚渫して、綺麗にしていただきたいなど。あと左側の既存林もこのままで話がありましたが、多目的広場ということとなっていますので、植栽を綺麗にするためにも間伐が必要じゃないかなと思うので、

その辺ができるのか今後どうなのかお願いします。

(事務局) 池の方は眺望とかもありますので、際は全く手をつけないっていうわけにはいかないと認識しております。ただ、浚渫となりますと、予算的なものと、希少種のトンボが確認されておりますので、かなりのお金と調査の期間が必要になることから、現実的ではないかなと考える次第でございます。既存林につきましては、これから測量をして現地の配置図を作りますので検討させていただくのと、どうしても予算的なものがありますので、その辺もあわせて今後検討させていただきたいと思います。

(委員) 関連してですが、そ・ら・らと既存林の中も含めた北山池の周辺を歩けるような想定を今回の整備に含められれば良いと思います。含められなかったとしても、将来的に回遊性を持たせるような流れで考えることが、健康志向の世の中で大事な視点じゃないかと思います。例えば、遊歩道のマップを用意して提供する、とかでも全く変わっていくと思いますし、いずれは北山池の北の方にも良い景観が広がっているので、そちらまで歩いて回れるような、こういう歩道の考え方をここの中で設置していくと、もっと価値が上がっていくと思うのですよね。自然景観との調和した健康を考えたような流れっていうのは大事なとこだと思いました。

(委員) 今日はA案かB案かC案か、皆さんから意見を取りまとめるような話だと伺ったけど、C案は現実的ではないという意見もあるし、飛行機の出し入れについて委員長からあったように、その辺もよく調査をしてからある程度出すべきと思うのだけど。それを置いておくと、私としてはB案が良いと思うのですが、A案の道路から展示スペースや模型が見えるのが良いと思うので、同じようにB案の展示スペースを道路側にすることはできないのか。

(事務局) ご意見いた提案をB案に取り込むことは可能です。建物の中の計画については、これから詳細を検討させていただきたいと思っております。

(委員) A、B、C案それぞれレイアウトを見て気になった点を申し上げますと、案によって計上されている部屋や機能に差異があり、単純に比較できない気がしました。例えば、B案には、飲食スペースとは別に厨房というスペースがありますが、A、C案にはなく、厨房の機能がどこに含まれるのか、仮に飲食スペースに含まれているのであれば、飲食スペースとして書かれているスペースの規模は、より小さくなってしまうのかなと思いました。比較する際には、必要な機能や部屋というものをすべて揃えた上で、比較ができるようにしていただくのが良いのかなという気がいたしました。

(委員) これは要望となりますが、先ほど現地にて北山池の下側から入ってくる農道を通ってきたのですが、今回の交流拠点整備と併せて整備をお願いしたい。

(事務局) 全体の予算等を含めて検討していきたいが、県道大和田羽生線から入ってきた際の水路を跨ぐところが狭さく部になっているため、拡幅するのに相当な事業費がかかると想定されます。そのため現時点では、将来的に進入路が1か所では不足する事態になった際に、後からでも整備が可能なような物理的スペースの確保に留めたいと考えております。

(委 員) 将来的には、渋滞緩和や緊急時への避難といった防災対策の観点からも大事なところなってきますと思うので、県道からの既存林側へのアクセスも念頭に入れといた方がいいのではないかと思いました。

(委 員) 茨城空港と交流拠点とそ・ら・らをアクセス道路沿いで結ぶ、例えば無人バスでつなぐような計画が今後必要になってきたりしませんでしょうか。あわせて、無人バスの乗り入れの場所などが必要ではないかと思いますが、いかが思われますか。

(事務局) 茨城空港の将来ビジョンからも、乗降客数や来場者が伸びることが想定されておりますので、ご指摘のありました移動手段は将来的には必要だと認識してございます。具体的に無人バスを通すのか、歩道を利用して簡易的に移動できるものを整備するのか、段階に応じて検討していきたいと考えております。

(委 員) 歩道を歩く場所と、無人バス等の移動をセットで考えたほうがいいと思います。同時に、超高齢社会の中では、無人バスで移動することは、必要になるかと思いますので、セットで考えたようなアクセス性は大事かなとか思います。

(委 員) 茨城空港はそれほど待ち時間があるわけでもなく、駐車場も無料ということで、空港に来てから飛行機に乗るまでの時間が短い方が多いと思います。そうなると、先ほど、待ち時間内に空港から無料バスで来訪という話もありましたけども、なかなか訪れる人は少ないのかなと。それでですね、先にそ・ら・らに寄ってもらうようにすれば良いような気がするので、そのため、自動チェックイン機をそ・ら・らに1台入れてもらう手はずをして、そこでもチェックインができますよと誘導をしていく、いうようなやり方も、関係機関が色々とあるので実行可能性としては難しいかもしれませんけど、そういうことまでやってもいいのかなと。今はネットで結ばれている時代なので、あそこで時間あるからって言ってチェックインだけ済まして、コーヒー1杯飲んでいこうかとかですね、先に寄ってもらうような形をとらないと、空港に来てからまた来てもらうというのは、ちょっと難しい気がしているので、検討してみてはいかがかなと思いました。

(委 員) 退役機を設置するにあたって、ただ設置するだけじゃなく、搭乗体験ができるようにしてはどうでしょうか。子供たちも遠足とかに来て、ただ見るだけじゃなく、コックピットに乗れるような体験もできたら良いのではないかと思って。それには説明する方がいないとね。体験と合わせて、そういう方の説明を受けることで、本当に来てよかったですなあと思うような感じになるのではないかと思います。

(事務局) 視察先等色々な方からも、説明があるのとないのとでは、全然違うということも意見としてお聞きしてございますので、ご意見を踏まえて進めたいと考えております。

(委 員) 今日のうちにこのA、B、C案というのを決めるのでしょうか。一部スペックも違う部分もあり、比較しがたいっていうご意見もあったりしまして、どうした方がいいのかなと。

(事務局) できればそのようなご意見をいただき、方向性を一つに絞っていきたいと考えています。施設内の細かい配置や導入機能等の補足については、次回の委員会にて説明させ

ていただきたいと思います。

- (委 員) A、B、C案のいずれかの方向性でどうかという流れですけど、皆さんいかがですか。
- (委 員) 説明を受けて資料を見ると私はB案がなんか楽しそうかなっていうふうに感じます。
- (委 員) B案を基本にして中身を修正していったら良いと思う。
- (委 員) B案を中心にさらに修正して高めていったらいいのではないか。
- (委 員) B案でよいと思う。
- (委 員) B案だとしたら、航空機をどこから入れるのかの問題だけかなと思います。あと、展示機能で、西側から入れると、そこに開口とったら西日が当たっちゃうかなと。ただ外の退役機に関しては、建物があるので守ってくれるので形的にはいいのかな。AとBで、前に持っていくのであれば、Bの方が私もいいかなと思う。それと、多目的スペースに関してですが、国の補助金で一度作ると、後から変更することは駄目って言われたりすることがあるのですけど。例えば、物販がもっと売れるのでここに物販広げたいのですとかっていうのは、後からでも出来るのですか。
- (事務局) 国の補助金や交付金で作りますと、作ったものを壊すとか改修する際には、返還という可能性がありますが、その時の状況等を踏まえて、その都度検討して協議することになるかと思います。
- (委 員) 多目的スペースだから壊さないでも新たな展開ができると思うのですよね。あまり売り物やっちゃいけないのかもしれないんですけど、物販って人を呼ぶ1つの手段もあるかなと思うので、お客様を寄せるのには、物販広げてった方が、あそこでこれを買いたいですっていうのもあると集客にも繋がっていいのかなと思いました。
- (委 員) ただ見るだけの施設ではなく、買い物等もできる施設が良いと思います。
- (事務局) 補助金や交付金の趣旨に沿った形で検討と協議を進めたいと思います。
- (委 員) 色々ありますがB案を中心に、本日いただいたご指摘等を加え修正をして、さらに高めていくというような方向性が皆さんのご意見だと思います。そのような方向性でよろしいでしょうか。
- (委 員) 異議なし。
- (委 員) そうしましたらB案を中心に、さらに計画を高めていってください。また、多目的スペースや飲食スペースがありますが、ぜひ、傾斜になっている広場と池との関係を考えていただきたいと思います。すごく眺望が良いところがあると思うので、周辺との関係を考えた上で空間が設計できると良いのではないかと思いました。

空のえき「そ・ら・ら・」について

- (委 員) 既存のそ・ら・らに2つのサークルがあり、サークルの屋根がかかっていない部分に屋根をかけるという話だと思うのですが、どんな屋根をお考えですか。場合によっては、暗く陰気臭くなってしまう可能性もあるので、光を通して明るくされようとしているのか。また、内側で屋根が低いと風が通りにくいものもあるので、空気の面もどうかとか、いろいろ懸念はあるのですけども。あと「そ・ら・ら」って空が見えるところなのかなって。

(事務局) 屋根については、まだ詳細に詰めているわけではありません。荷重や既存の建物と

の関係性っていうのを整理していく必要があると思っております。

(事務局) どちらかというと膜とかそういった軽いもので、おっしゃる通り光を通さないものにしてしまうと、暗い空間になってしまいますので、光の透過性っていうのは考えていく必要があるとは思っております。

(委員) ゼひ風通しと、開放感と、屋根を設けたことで柱が出てきたりするとまたうるさくなってしまうので、開放感のある明るい中庭を目指していただければいいかと思いました。

(委員) ヨーグルトハウスが狭く、5人ぐらいでいっぱいになり、中に入つていけない状況である。左側の多目的施設をつなぐという話だったのですけど、それはヨーグルトを売る場所を増やせるのか、どういう目的でやるのかを教えていただきたい。あと、右側のそ・ら・らホールBをどのように使うのかお願いします。

(事務局) ヨーグルトハウスの手狭感は、新しく決まった指定管理者さんも感じております。一方で集客力は非常にあるということで、この多目的施設、旧チャレンジショップのスペースを使うか、もしくはすぐ隣のそ・ら・らホールBをイートインスペースとして売り場面積も広げながら使うというイメージがあります。ただ、施設の許認可は、今後は指定管理者になって参りますので、指定管理者と食品公社の方で内容を調整することとなるかと思います。

(委員) 全体的な遊ぶスペースとかがすごく広がっていいなと思うんですけど、夏の暑さ対策は、何か考えていらっしゃるかなと。最近、10月、11月ぐらいにようやくお外で遊べるようになったのですが、何ヶ月もの間、外に出られないっていう状況が続いたので、その辺のお話を質問させていただきたいです。

(事務局) 暑さ対策につきましては、屋根を設置して日陰を作りうるかというところで検討を進めています。指定管理者の意見で、室内に遊具を設けるという意見もいただいているのですが、今の既存施設の中だと遊具を入れるようなスペースがないので、今のところは屋根の下に遊具を置いて、日陰を作りうるかと想えております。

(委員) 例えば、公園とかで下から噴水みたいに水が出て水遊びができるスペースとか、ミストが出るスペースとかは、最初に水道を作つておかないと、後から通すというのが非常に困難かなと思うので、そういうところがあつてもいいかなと思うので、プールまでいかなくともピチャピチャ池みたいのがあつてもいいかなと思うのですがいかがでしょうか。

(事務局) 43ページの真ん中に、屋根を設置ということになっておりますので、そこに遊具とかを設置して日陰を作りうるかと考えます。委員のお話にありましたミストですが、今のそ・ら・らでも、夏場暑いときに入口でやっておりますので、ぜひ今回もこ屋根を設置するので、そこにミストを付けるのも1つの案かなと思っております。今後、詳細を詰めていきますので、取り入れられるように調整できればと思っております。

(委員) この南側の駐車場・イベント・調整池ゾーンがありますが、ここはどんな路面になるのでしょうか。

(事務局) 維持管理のことを考えますとアスファルトで整備したほうが良いかと、今のところ考えております。

(委 員) アスファルト等で行えるイベントをここで行うというところですか。調整池もあったりする場所なのですよね。

(事務局) 具体的にまだ場所は決まってないですが、この場所の一部に調整池が入る形になります。

(委 員) 結構広いエリアで、多くのところが緑地があつたりしていて、アスファルト等は管理の面からはいいかもしれませんけど、こここの広大な部分をアスファルトにすると人工的な感じになってしまふので、違う手法も考えてもいいのかなと思いました。最近はアスファルトではないやり方も出てきているのではないかと思いますので、それもお考えいただければと思いました。かなり広いエリアで、体型にぎわいゾーンからもよく見える場所ですので、雰囲気を作っていくためにも、工夫が欲しいところと思いました。

(委 員) そ・ら・らの拡張部分について、市の方で土地を買収する計画になっているのですが、地元の方からいつ頃になるのかとお話があるので、現在のスケジュールと用地の取得時期について、答えられる範囲でお伺いしたい。

(事務局) 今のところのスケジュールでございますが、今年度に実施計画を策定しまして、来年度に基本設計、測量・地質調査を実施できればと思っています。用地買収につきましては、最短で令和10年度に入れればというところで考えております。ただ、新まちづくり構想自体が大きい事業になりますので、事業の平準化等でスケジュールが先送りになる可能性がございます。

(委 員) 今日見てきた2ヶ所、各施設の整備事業は切り離して実施するようになるのか、そのあたりはどうなのかなと思いました。

(事務局) 所管課は別々となっておりますが、計画としては一体のものとなり、一事業として進めていく考えになります。補助金との兼合いもありますが、新交流拠点の方は、予定では令和10年、11年の2ヵ年で工事をして、12年度の当初に供用開始を目指し、北関東防衛局と協議しております。ただ、建築物等の事業費が大きい事業が重複しますと、市の財政負担が大きくなりますので、新交流拠点の供用開始をフィックスとしつつ、予算的な規模を踏まえながら事業実施時期の調整が必要なるかと思います。

(委 員) そ・ら・らについて、指定管理が入ることになりましたが、休みや営業時間とか、今の時点で分かっているのであれば教えていただきたいのですが。

(事務局) 現時点では完全に決まっておりませんが、現在のそ・ら・らは火曜日定休日でございますが、指定管理者の方からは、定休日なしで運営をしたいという希望が出ております。あと、現在18時が閉園ですが、夜間営業も考えており、遅くとも20時ということで、提案を受けて調整に入っています。

(委 員) バーベキュー会場ですが、お肉とかは、そ・ら・らで買ってバーベキューをやるのか、それとも完全持ち込みなのか。あと、イベントスペースで、熱気球とかやらせていただきたいと思うのですけども、照明の設置箇所だけ気をつけてもらいたいです。何本

も間にあると、その間が熱気球の邪魔をしてしまうので、四隅から大きな照明を当てもらった方がありがたいのでお願いします。

(事務局) バーベキューは指定管理者との協議の中で、運営方法については地元食材にできればこだわりたいというような提案を受けております。直売所を通して詰め合わせセットを販売、1食いくらみたいなものを指定管理者の方で検討していると聞いております。

(委員) バーベキューの続きですけど、最近のバーベキューをやったっていう、娘たちの話を聞くと、バーベキューの後に宿泊やキャンプがセットになっているところが多いみたいで、ここはバーベキューオンリーですよね。

(事務局) 宿泊施設としてのハード整備は今回の計画の中では全く検討しておりません。ただ委員おっしゃる通り、車で来て泊まれるということで、オートキャンプが非常に手軽であることから、詳細なところはこれからですが、オートキャンプができる区画を一部運営上、スペースを用意しようかという考えは指定管理者の方で考えをお持ちであるとい聞いております。

(委員) 車中泊やキャンプができたりするのであれば、水場の整備やシャワーの整備も併せて考えていただけすると良いかと思いました。

（2）次回会議の日程について

4. その他

5. 閉会